令和7年第4回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時	令和7年4月24日(木) 午後3時30分から午後4時34分まで		
開催場所	市役所 5階 教育委員会室		
出席者	教 育 長	滝 嶋 正 司	
	教育長職務代理者	古 谷 広 明	
	委 員	宮 崎 英 子	
	委 員	安河内 由 香	
欠席者	委 員	青 田 和 義	

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	五十嵐 和 也	次長兼教育総務課長	増 島 康 浩
社会教育課長	石 井 巳代子	中央公民館長	北 田 覚
スポーツ振興課長	河 井 一 敏	学校教育部長	宇佐見 昌 義
次長兼教育指導課長	利根川 浩 子	学 務 課 長	岩 田 剛 平
書 記	大 熊 正 則		

会議の公開・非公開 議案第11号から議案第36号までの26議案については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立性が損なわれるおそれがあることから非公開とした。

傍聴者数 0名

報告事項

- ・令和7年度地域学校協働活動推進員について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

狭山市教育委員会では、地域学校協働活動を推進していくため、社会教育法及び狭山市地域学校協働活動推進設置要綱に基づき、令和7年4月1日付で、市内16学校区中、準備の整った学校区について15名の推進員を委嘱した。今後は、推進員を中心に、PTA、自治会、NPO、企業、団体等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働し、学校を核とした地域づくり、地域とともにある学校づくりを目指し、引き続き研修会等を実施していく旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、推進員がいない学校区について、今後はどのように対応するののかとの質疑に、推進員については、各学校の校長と各地域の公民館長からの推薦を受け委嘱しているが、活動の中心となってもらえそうな人がいる場合は、すぐに学校から候補者が上がってくるが、どの方にお願ひすればよいか迷っている学校もある。来年度は20名を予定しているが、活動を進める中で推進員を務めてもらえそうな人を探すようお願ひはしている。何年後かには全員揃うような形にしたい旨の答弁がなされた。

- ・サークル・団体向けのアンケート結果及び文化部の部活動地域移行のスケジュールについて
報告者（社会教育課長）
(要旨)

狭山市教育委員会では、中学校の部活動地域移行に向け事務を進めているが、文化部については、令和7年3月に、公民館や総合体育館等で活動しているサークルや団体に対し、土曜日・日曜日に中学生の受け入れが可能かどうかを把握するためのアンケート調査を実施した。回答数は121件であり、そのうち62団体が受け入れ可能としている。今後のスケジュールは、受け入れ可能と回答した62のサークルや団体を対象に、4月30日、説明会を開催し地域移行についての説明、実証事業への参加確認を行う。6月には、中学生に向け、受け入れ可能なサークルや団体についてスクリーンで配信し、7月には実証事業について中学生からの申し込みを受け付け、8月から調整が整ったサークルを対象に実証事業を実施する予定であり、おおよそ3か月の期間を目途に実施する。事業実施後、課題等の解決に向け検討し、必要であれば、再度実証事業を行う予定である。また、吹奏楽部については、現在、顧問の先生と指導者を派遣している市内の吹奏楽団とこの活動について調整をしている旨の報告がなされた。

- ・令和7年度狭山市立小中学校の児童生徒数・学級数について
報告者（教育指導課長）
(要旨)

市内15小学校全体で1年生から6年生までの通常学級に在籍する児童は5,719名、特別支援学級に在籍する児童は237名であり、通常学級数は204クラス、特別支援学級数は42クラスである。また、市内8中学校全体で1年生から3年生までの通常学級に在籍する生徒は3,118名、特別支援学級に在籍する生徒は90名であり、通常学級数は89クラス、特別支援学級数は20クラスである。市内全体で、通常学級に在籍する児童生徒は8,837名、特別支援学級に在籍する児童生徒は327名であり、通常学級数は293クラス、特別支援学級数は62クラスである旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、入間川東小学校について、今後の児童数の推計値はどのようになっているのかとの質疑に、令和8年度660名、令和9年度676名を見込んでいく旨の答弁がなされた。

- ・令和7年度狭山市立小中学校の教職員数について

（要旨）

市内 15 小学校で校長・教員は 305 名、少人数加配等の教科加配とその他の加配教員を合わせて 49 名、養護教諭 15 名、県費事務職員 15 名、栄養教職員 4 名、合わせて 388 名である。なお、定数外の欄の小数点で表されている数字は、再任用短時間勤務職員の勤務日数を表しており、週 1 日勤務の場合は 0.2、週 3 日勤務の場合は 0.6、週 4 日勤務の場合は 0.8 と表記している。市内 8 中学校で校長・教員は 184 名、少人数加配等の教科加配とその他の加配教員を合わせて 20.8 名、養護教諭 8 名、県費事務職員 8 名、栄養職員 2 名、合わせて 222.8 名である。市内全体で校長・教員は 489 名、少人数加配等の教科加配とその他の加配教員合わせて 69.8 名、養護教諭 23 名、県費事務職員 23 名、栄養教職員 6 名、合わせて 610.8 名である旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、中学校の合計数が 222.8 となっているが、少人数学級の指導者数も足りるという考えでよいかとの質疑に、初任者研修の配置数が県の方で決まっており、他市との兼務等の関係と、週 5 日間フルタイム以外の勤務形態が認められており、勤務日数について、小数点以下の数字で表記することになっている旨の答弁がなされた。

- ・令和 7 年度狭山市立幼稚園園児数及び教諭数について 報告書（学務課長）
（要旨）

令和 7 年度当初の狭山市立幼稚園の園児数は 31 名であり、前年度に比べ 13 名の減である。内訳は、入間川幼稚園は 20 名で前年度に比べ 5 名の減、水富幼稚園は 4 歳児の学級編制を行わないことから、5 歳児のみの学級編制となり 11 名であり、前年度に比べ 8 名の減となっている。学級数については、入間川幼稚園は 4 歳児の年少学級と 5 歳児の年長学級が各 1 学級、水富幼稚園は 5 歳児の年長学級が 1 学級であり、合計 3 学級である。教諭数については、水富幼稚園の 4 歳児の学級編制を行わないことから、入間川幼稚園の職員体制を充実させ、入間川幼稚園では正規 5 名と会計年度任用職員 3 名の計 8 名を、水富幼稚園は、正規 3 名と会計年度任用職員 2 名の計 5 名を配置し、合計で 13 名体制とした。なお、入間川幼稚園の職員体制を充実させたことから、今年度は、長期休業中の預かり保育を実施するとともに、令和 8 年度からの 3 歳児保育の実施に向け周知等準備を進める旨の報告がなされた。

- ・令和 7 年度狭山市学校（園）医・歯科医・薬剤師について 報告者（学務課長）
（要旨）

担当替えに伴い、前年度と比べ、内科医で 2 校、耳鼻科医で 11 校、歯科医で 1 校、薬剤師で 2 校が変更となっており、眼科医については変更がない旨の報告がなされた。

- ・令和 7 年度入学者奨学金貸与状況について

報告者（学務課長）

（要旨）

令和7年度入学者の奨学金貸与件数は1件であり、対象者は4年制の私立大学への進学者である。貸与金額は、入学一時金50万円、学資金が4年総額で120万円、合計170万円である。なお、制度創設以来の利用者は、高校生162名、専修学校生87名、高等専門学校生2名、大学生442名、合計693名となっている旨の報告がなされた。

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和6年度第3回狭山市文化財保護審議会の開催結果について、その概要の報告がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（スポーツ振興課長）

（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係7件、スポーツ振興課関係2件、教育指導課関係1件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、「森へのとびら」について、平日に実施するという事は、市内の小・中学校も利用できるということかとの質疑に、対象は幼稚園や保育園、学童保育室、小学校、クラブ活動、稽古などの団体であり、1団体25名程度まで予約により遊べる場所を提供することになっている旨の答弁がなされた。

「NHK杯第58回全日本選抜ボウリング選手権」の参加費は12,500円となっているが、なぜこの金額なのかとの質疑に、今回、全日本クラスの大会であり、同程度の大会の参加費はおおむねこのぐらいの金額となっている旨の答弁がなされた。

議 案

議案第11号 狭山市社会教育委員の委嘱について

狭山市社会教育委員に欠員が生じたことに伴い、新たに委員を委嘱することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第11号については、原案可決した。

案第 12 号 狭山市立博物館協議会委員の任命について

狭山市立博物館協議会委員に欠員が生じることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、今回の候補者の任期は令和 7 年 10 月 31 日までということとよいのかとの質疑に、現博物館協議会委員の任期は 2 年間であり、令和 5 年 11 月 1 日から令和 7 年 10 月 31 日となっており、今回の候補者の任期は、前任者の残任期となる旨の答弁がなされた。11 月 1 日以降の次期博物館協議会委員については、またこういった形で議案として提出されるのかとの質疑に、任期満了前に、教育委員会会議に議案として提出する旨の答弁がなされた。

議案第 12 号については、原案可決した。

議案第 13 号 狭山市立富士見集会所運営審議会委員の委嘱について

狭山市立富士見集会所運営審議会委員に欠員が生じたことに伴い、新たに委員を委嘱することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 13 号については、原案可決した。

議案第 14 号 狭山市公民館運営審議会委員の委嘱にについて

狭山市公民館運営審議会委員の任期が、令和 7 年 4 月 30 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を委嘱することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 14 号については、原案可決した。

(議案第 15 号の審議に先立ち、教育長より、議案第 15 号から議案第 36 号までの 22 議案については、いずれも学校運営協議会委員の任命に係る議案であることから、一括説明・一括質疑ののち、採決は 1 議案ずつ行う旨の説明があった。)

議案第 15 号 狭山市入間川小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立入間川小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決

を得るため、提案がなされたものである。

議案第 16 号 狭山市立入間川東小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立入間川東小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 17 号 狭山市立富士見小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立富士見小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 18 号 狭山市立南小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立南小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 19 号 狭山市立山王小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立山王小学校学校運営協議会委員を新たに任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 20 号 狭山市立入間野小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立入間野小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 21 号 狭山市立御狩場小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立御狩場小学校学校運営協議会委員を新たに任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 22 号 狭山市立堀兼小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立堀兼小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 23 号 狭山市立狭山台小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立狭山台小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 24 号 狭山市立新狭山小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立新狭山小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 25 号 狭山市立奥富小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立奥富小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 26 号 狭山市立水富小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立水富小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 27 号 狭山市立広瀬小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立広瀬小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 28 号 狭山市立笹井小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立笹井小学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 29 号 狭山市立中央中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立中央中学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了になることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 30 号 狭山市立入間川中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立入間川中学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 31 号 狭山市立山王中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立山王中学校学校運営協議会委員を新たに任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 32 号 狭山市立入間野中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立入間野中学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 33 号 狭山市立堀兼中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立堀兼中学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 34 号 狭山市立狭山台中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立狭山台中学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 35 号 狭山市立西中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立西中学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 36 号 狭山市立柏原小・中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立柏原小・中学校学校運営協議会委員の任期が、令和 7 年 3 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、各校の候補者名簿を見ると、委員の人数に差があるが、教育委員会として状況確認や指導を行っているのかとの質疑に、委員数が五、六名の学校については当該校長に確認しており、今後徐々に人数を増やしていきたいという思いがあることは確認している。ただ、協議会を立ち上げたばかりでどの方を任命していいか迷っており、もう少し考えたいということも聞いている旨の答弁がなされた。

校長・教頭が候補者に入っている学校とそうでない学校、あるいは校長だけが入っている学校と様々であるが、委員の構成について、教育委員会としては、学校に任せているのか、それともある程度の基準を設けているのかとの質疑に、学校運営協議会規則の規定では、委員は「対象学校の教職員」からも任命できるが、校長や教頭を候補者に入れるかどうかは、学校の実情に応じており、あまり教職員が関わらなくても運営できる学校では、あえて校長・教頭が委員に入らない場合もあると聞いている。その辺は学校に任せている旨の答弁がなされた。学校運営協議会委員の任期は 1 年であり、学校の意向で候補者を決めるということは、毎年度変わる可能性があると考えてよいのかとの質疑に、校長の異動などにより委員構成が変わることはあるが、再任の委員もいるので、引き継ぎを行いながら運営していると聞いているとの答弁がなされた。協議会委員は、市外在住の人も任命できるのかとの質疑に、例えば、元校長など学校や地域の実情をよく承知している人であれば、学校に関係する者として任命することは可能と捉えている旨の答弁がなされた。

(採決結果)

議案第 15 号については、原案可決した。
議案第 16 号については、原案可決した。
議案第 17 号については、原案可決した。
議案第 18 号については、原案可決した。
議案第 19 号については、原案可決した。
議案第 20 号については、原案可決した。
議案第 21 号については、原案可決した。
議案第 22 号については、原案可決した。
議案第 23 号については、原案可決した。
議案第 24 号については、原案可決した。
議案第 25 号については、原案可決した。
議案第 26 号については、原案可決した。
議案第 27 号については、原案可決した。
議案第 28 号については、原案可決した。
議案第 29 号については、原案可決した。
議案第 30 号については、原案可決した。
議案第 31 号については、原案可決した。
議案第 32 号については、原案可決した。
議案第 33 号については、原案可決した。
議案第 34 号については、原案可決した。
議案第 35 号については、原案可決した。
議案第 36 号については、原案可決した。

以 上